

Woman New Deal

女性の力で新しい日本を築く。
日本経済新聞社と三井住友銀行の共同プロジェクト。

Special セミナー

三井住友銀行 共同プロジェクト

グローバルに羽ばたく女性になるために

「NIKKEI丸の内キャリア塾スペシャルセミナー」が6月15日、大阪国際会議場で開催されました。

「グローバルに羽ばたく女性になるために」をテーマに、知的で行動的な2人の女性に熱く語っていただきました。

基調講演では、石倉さんは自分の強みを見直して、世界に視野を広げ行動しようと呼びかけ、逢坂さんは幸せに生き抜くための知恵の大切さを強調しました。トークショーでは、世界に羽ばたきたい女性たちに向け、楽しく、有意義な討論が行われました。

第2部 トークショー
グローバルに羽ばたく女性になるために



お金の管理も不可欠 国内外の動向も確認

石倉 グローバルに羽ばたくためには、まず、どんな目標があるのか、どんな仕事に就きたいのかを明確にする必要があります。そして、そのためにはどれくらいのお金が必要なのか、あるいは現にどのくらい使っているのか、お金の管理も不可欠です。いきなり資産管理運用といっても、初めての人にはなかなか難しいですね。

逢坂 そうですね。いまはグローバル化が進んでいますから、日本だけでなく、海外の為替や株価、金利の変化なども確認しておく必要があると思います。その上で目標を立てる。例えば3年後に100万円欲しいという目標を立てたら、いくらの元手で何%の利回りで運用すべきかが決まってくる。

石倉 金利や株価の変化を毎日見てチェックするのは大変ではないですか。

活躍する女性見て刺激 迷う前に、まず実行を

石倉 私は大学3年生のときに米国に留学しました。始めは単なる好奇心で行ったのですが、親から離れて生活したので、自分一人でもやっていけそうだと自信ができました。また米国のさまざまな分野で活躍する女性の姿を身近に見て、とても刺激を受けました。この経験が、私を新しい世界に飛び込む勇気を与えてくれたと思います。

逢坂 迷う前にまず何か実行してみることが大切です。ただでさえ日本の女性はおとなしく消極的と見られがちですから、どんな人に話しかけ、分らないことはきちんと聞く。後でちゃんと「ありがと」と言っておけば、厚かましい人だなんて思われませんか？

石倉 海外で活躍するには、コミュニケーション力、特に英語力は不可欠だと思います。外国語は毎日やらないと忘れてしまうので、私は海外ニュースをダウンロードして聞いています。世界に羽ばたくには、身近なところから努力する、そして続けることが重要ではないでしょうか。

女性が世界に一步を踏み出すために、いま何をすべきかについてお話ししたいと思います。現在の世界は、まるで「荒野にある高速道路を走るようなイメージ」です。これまでの社会や業界の枠組みがまったく通用しない荒野を猛スピードで進んでいく時代だからです。だからこそ、既得権やしがらみの少ない若い世代や女性には成功のチャンスが広がっているのです。

そんな時代を、われわれはどう生きていけばいいのでしょうか。まず、学歴や資格など外面的要素と、会わないとわからない自分の取り柄やユニークさなど内部的要素をうまく組み合わせ、自分のセールスポイントを探し、戦略シフトすることが必要

戦略シフトし、あとは実行あるのみ

基調講演 1

Act Globally Think Locally

— 世界に一步を

です。そして、実行あるのみです。「荒野の高速道路」を走り、どんどん新しい世界に飛び込んでいく。そこには想像を超えた可能性が広がっているはず。では、具体的にどうすればいいのか。その答えが「Act Globally Think Locally」です。IT(情報技術)が進化しているため、日本にいながら瞬時に世界の情報が得られたり、情報交換できたり、同じ意見を持った人とつながることができ、行動に移すだけで、行動に移すことがコツです。「Act Globally」ですよ。もう一つの「Think Locally」は、「自分の良さや強みをさらに伸ばしていくこと」です。世界に視野を広げるとともに、身近にある良さをもう一度見直し、そして行動していくことが大切でしょう。



一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授

石倉 洋子さん

Profile
マッキンゼー社マネージャー、青山学院大学教授を経て、2000年から現職。専門は経営戦略、グローバル競争におけるイノベーション戦略。著書に「世界級キャリアのつくり方」「組織のコアスキル」などがある。

自分の「TALENT」の見直しを

実は、高校時代から資産運用を始め、その資金でこのフランスに音楽留学した経験があります。結局、能力の違いを目的の当たりにして音楽家の道を断念しましたが、そのときニューヨークのウォール街では女性が男性に比べて活躍していることを知りました。そして、ニューヨーク大学に留学したので、赤貧生活をしながらも、必ずウォール街でキャリアを積んでみせるという夢が私を支え、その後いくつかの外資系企業で働くことになりました。

そうした経験から、私は自分力アップには8割が直接努力、2割が間接努力だと知りました。直接努力は

基調講演 2

夢と幸せをつかむ 自分力アップ術

いわば生きる力ですが、まず現時点での自分の「タレント(TALENT)」を見直してみよう。Tはタイム(時間の有効利用)、Aはあいさつ、Lは礼儀、Eは笑顔、Nはノート(記録)、Tは途中経過(報告・連絡・相談)ですが、みなさんはこれがきちんとできていますか。この基本動作を磨くことがセールス力、プレゼンテーション力などにつながり、自分のブランド力を高めていくのです。一方、間接努力も重要で、人脈はその代表格といえます。要は、あなたを応援したいという人を何人つくるかです。

加えて、大切なのは夢をあきらめないこと。夢が実現するまであきらめず、コップを磨くように自分を磨く努力をし続けることが、それが重要なことです。



資産運用コンサルタント
逢坂 ユリさん

Profile
外資系金融機関で資金運用などの業務に携わる。2005年に独立し、マクロ経済見通し、資産運用、営業などのテーマで講演を行う。「日本株でいこう!」「3年後に後悔しないためのお金の守り方」など著書多数。